

大分県内における観光客の流動を促進するための交通体系整備の課題 ～大分空港における観光行動パターンの聞き取り調査からの考察～

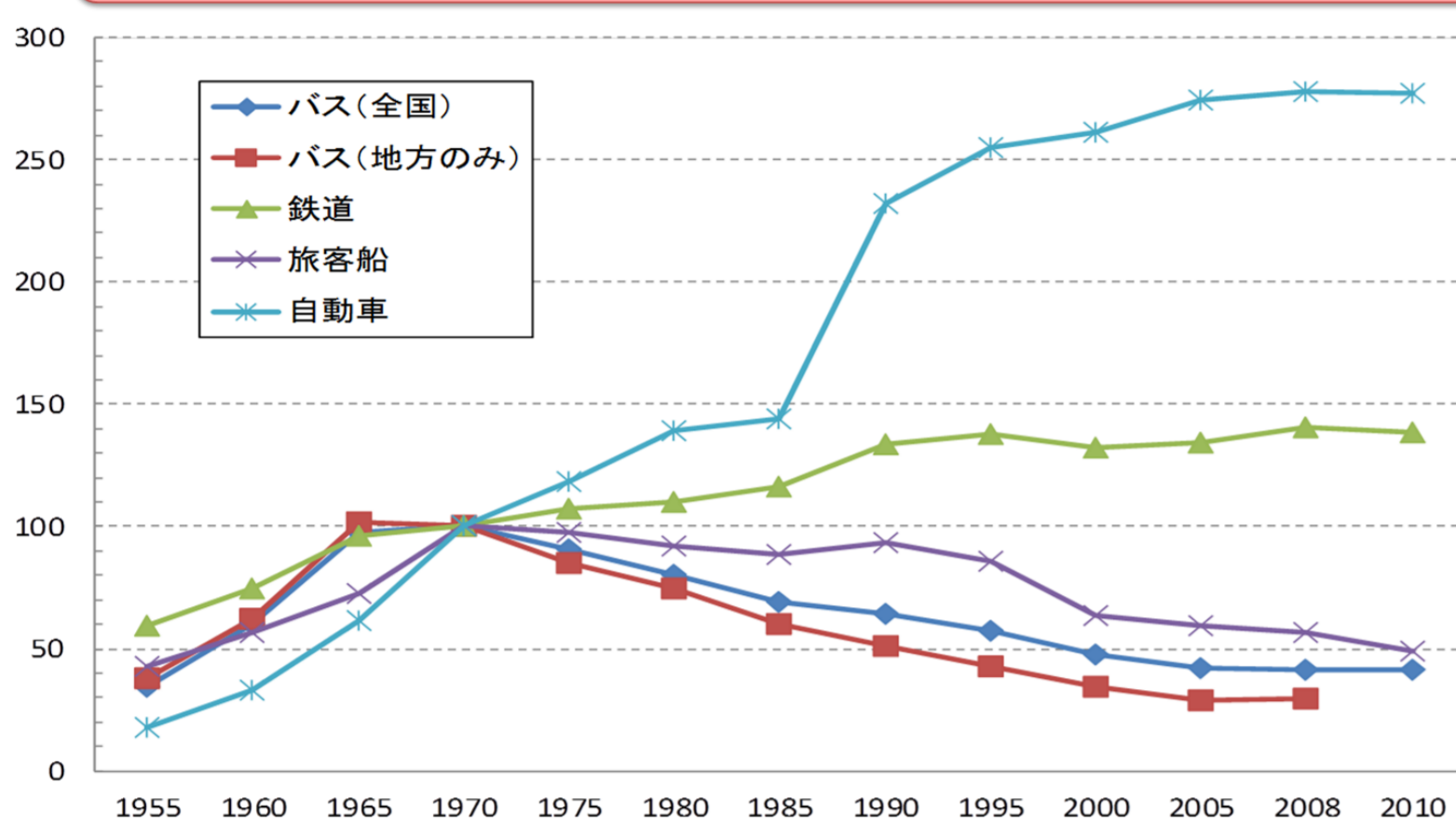
大田嘉一郎・岩元幹太・小田周平・河野由依・屋野寧音(大分大学経済学部経営システム学科交通論研究室)
大井尚司(大分大学経済学部)、川島太郎(大分航空ターミナル株式会社)、大分県企画振興部観光・地域局交通政策課



① 背景と目的

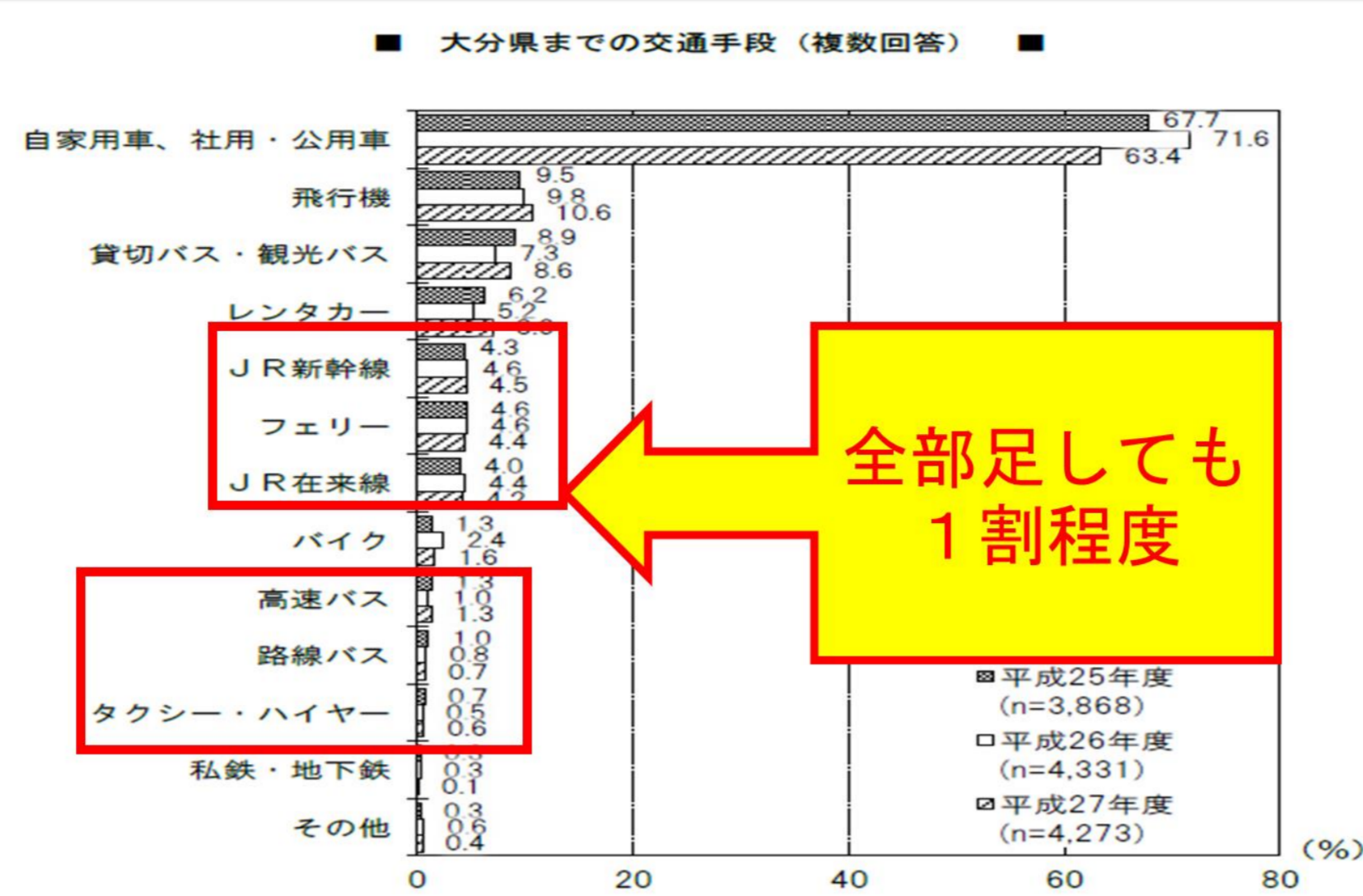
背景

全国的な公共交通の利用減⇔自動車依存



公共交通の利用率は低い(?)

観光時の交通も自家用車中心へ



目的

大分県内における公共交通機関を主とした二次交通の潜在需要を明らかにすること

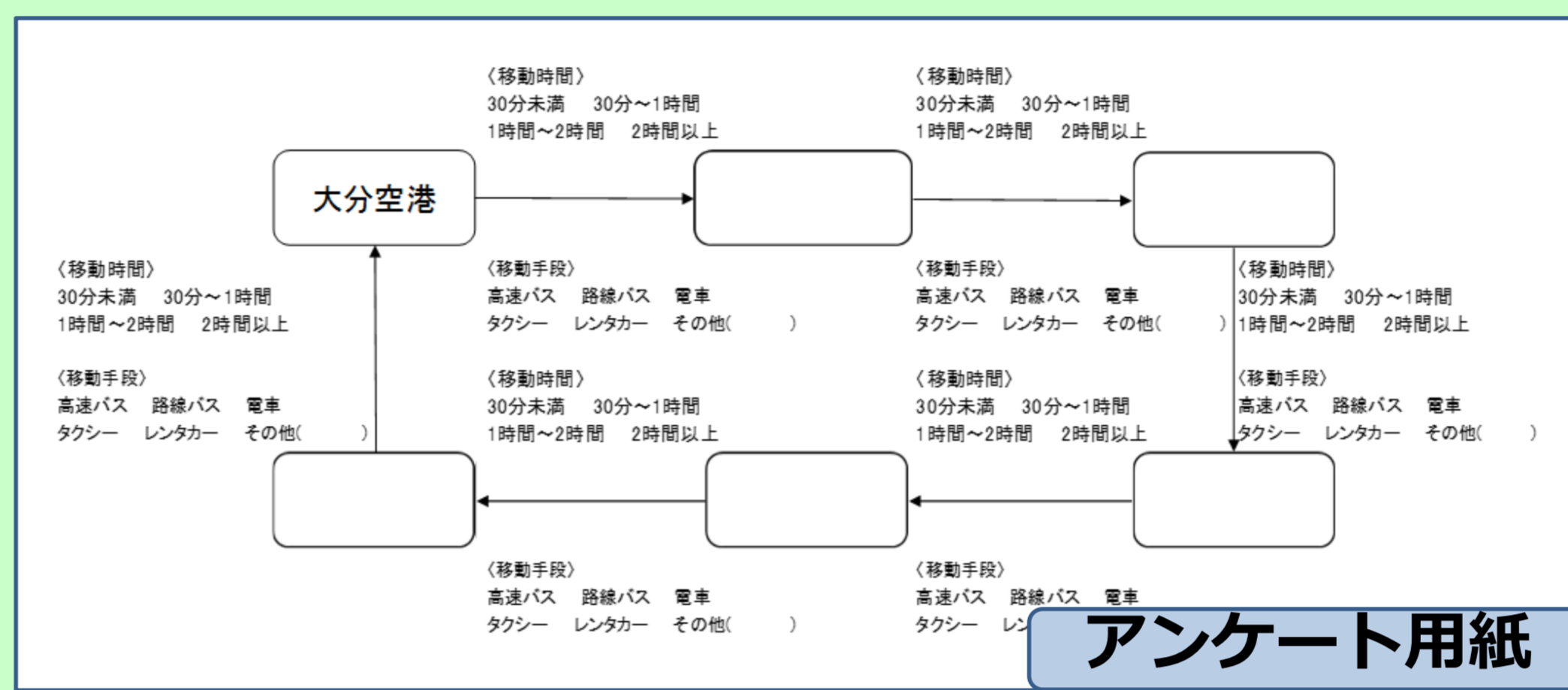
現状把握のため

アンケート調査
In 大分空港

② 調査内容

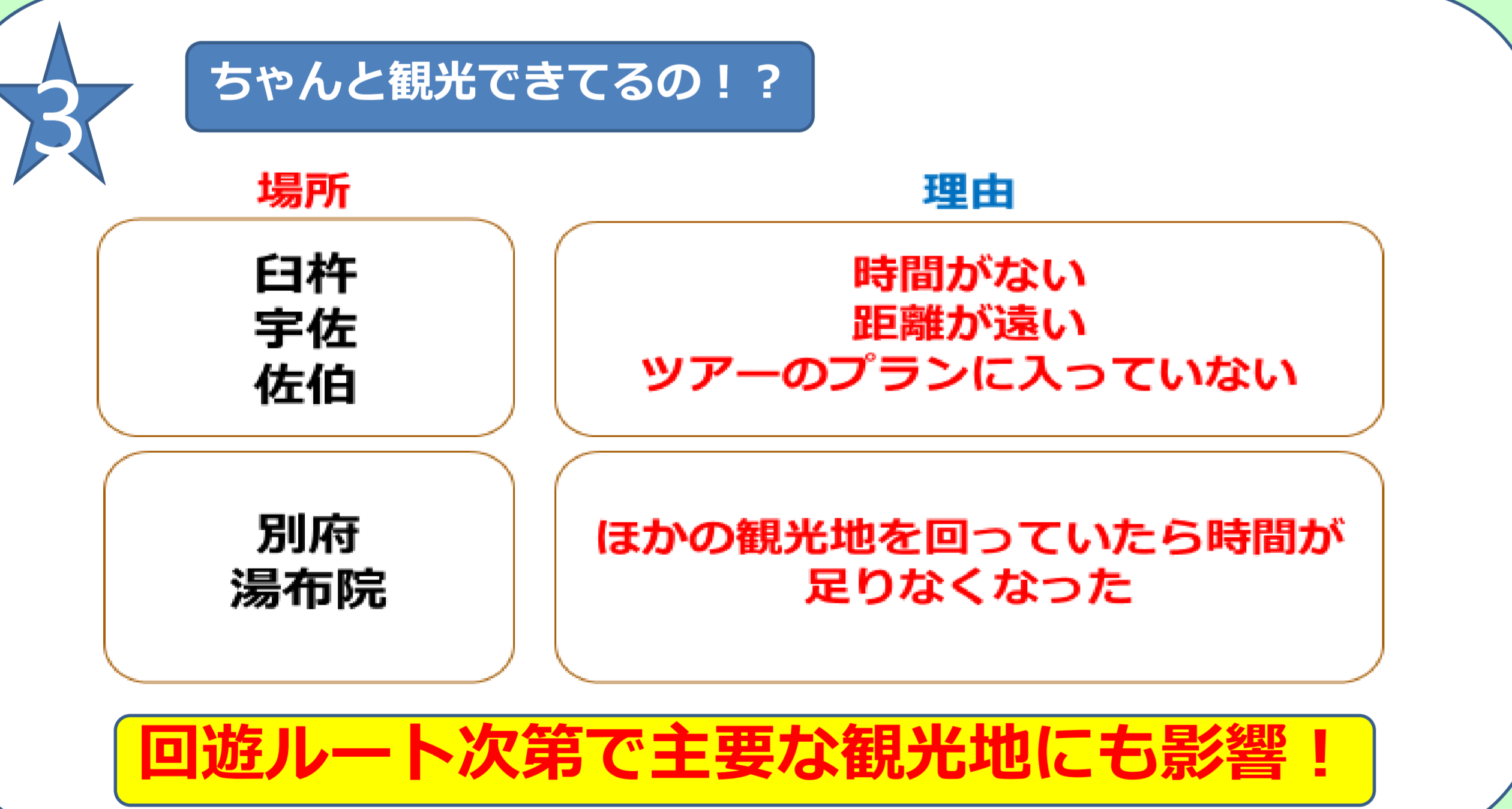
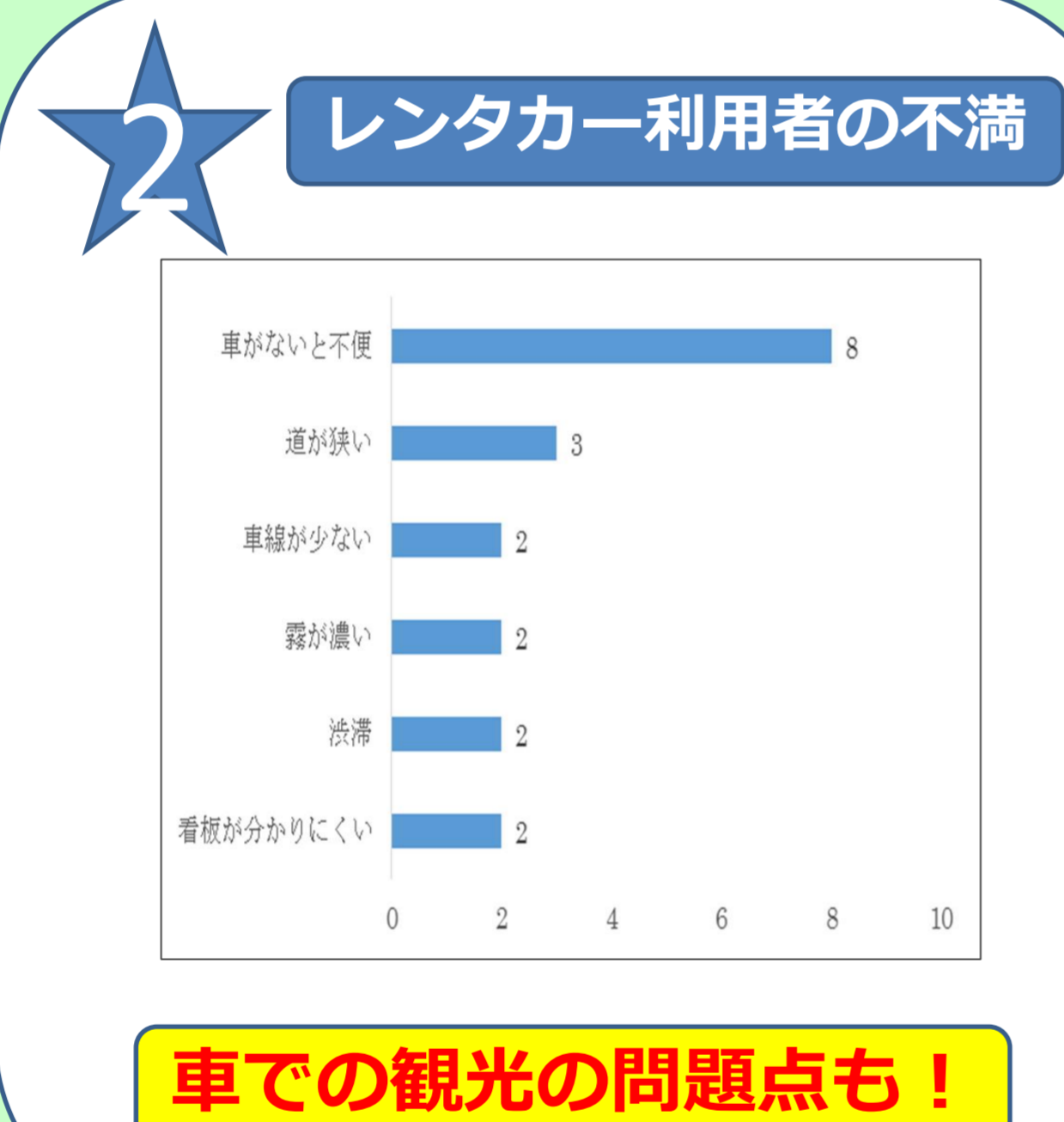
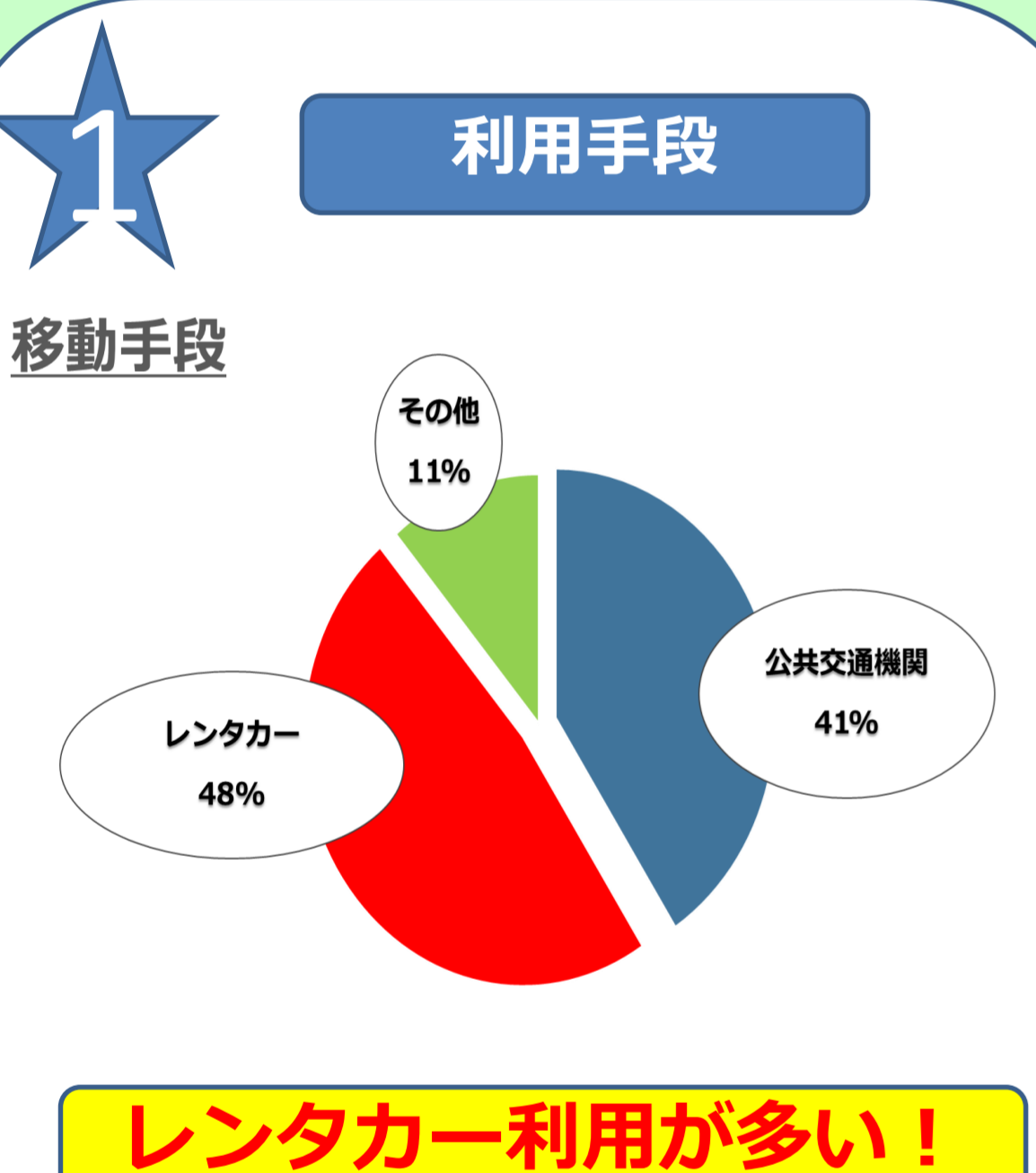
125部
回収しました!

場所: 大分空港(足湯、ロビー)
調査期間: 2016年8月28日(日)、9月6日(火)
調査時間: 8:00~20:00

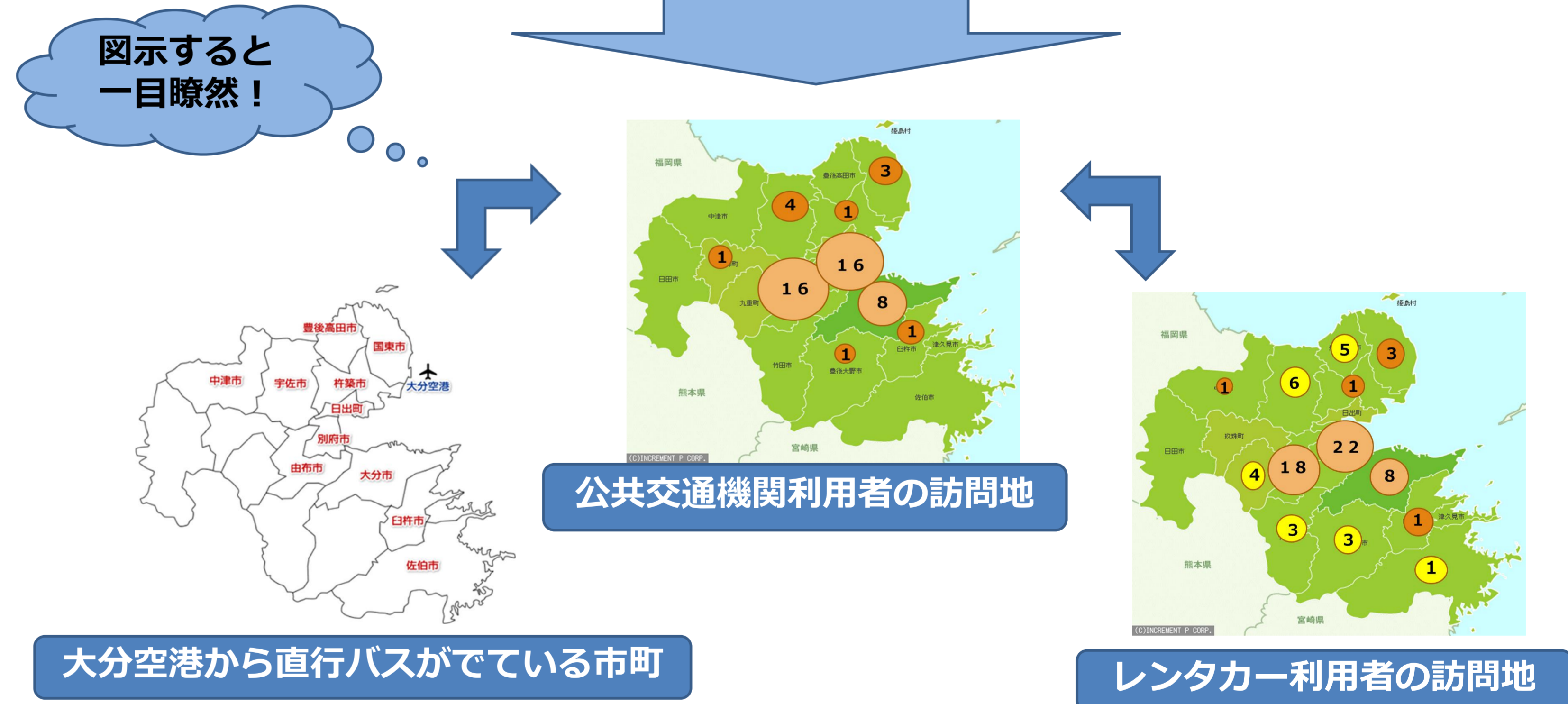
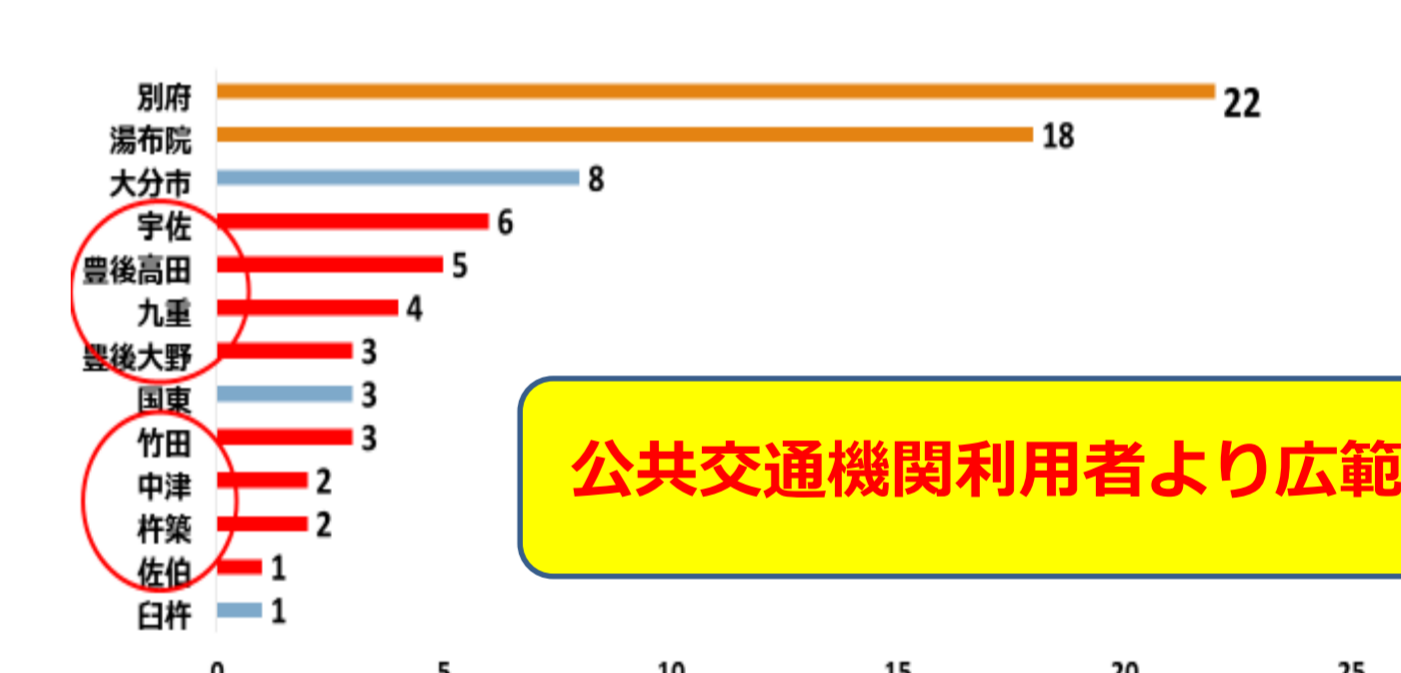
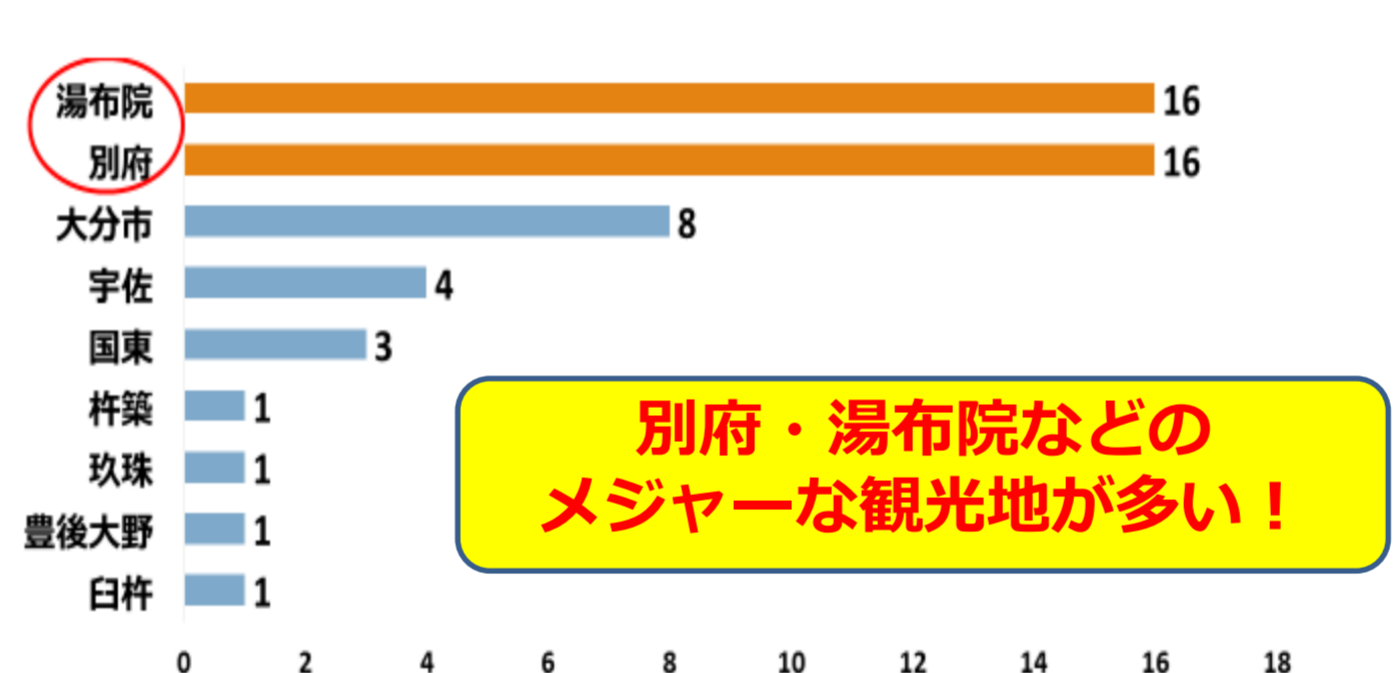


協力: 大分航空ターミナル

③ 成果と考察



4 どこを訪れた?



レンタカーのほうが回遊範囲が広く公共交通利用者は、行動を制限されている!

④ 提言

公共交通は不便であるという思い込み
アクセス方法が分からない

車の不便な点
・飲酒ができない
・霧が濃い・渋滞

大分県の現状
運転せざるを得ない



レンタカー+公共交通の組み合わせ



PR活動